

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員 }

福岡県病虫害防除所長

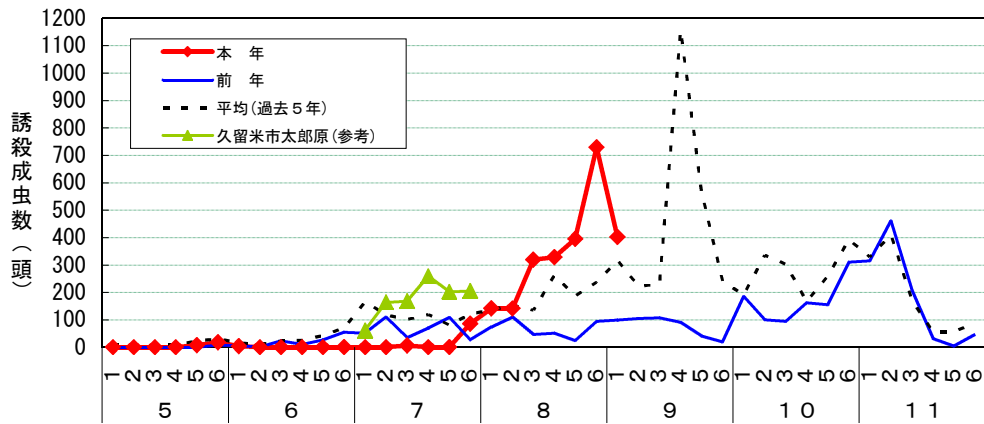
平成22年度病虫害発生予察注意報第4号について

このことについて、病虫害発生予察注意報第4号を発表したので送付します。

注意報 第4号

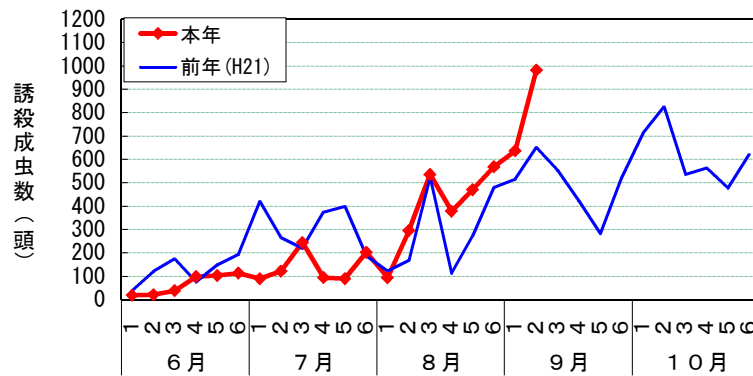
大豆、野菜類

- 1 対象作物：大豆、野菜類
- 2 病虫害名：ハスモンヨトウ
- 3 発生地域：県下全域
- 4 発生量：多
- 5 注意報の根拠
 - (1) フェロモントラップでの雄成虫の誘殺数は、筑紫野市では平年・前年より多く（第1図）、柳川市では前年より多い（第2図）。行橋市では誘殺数は前年より少ない（第3図）が、ほ場では発生が見られる。地域により発生状況に差があるので注意する。
 - (2) 9月2半旬調査の結果、大豆25株当たりの幼虫数は27.3頭（平年29.0頭、前年13.9頭）（第4図）で、平年並、前年より多い。また、1a当たりの白変葉発生株数は11.4株（平年19.6株、前年21.9株）（第5図）で、平年、前年よりやや少ない。
 - (3) 9月10日付け福岡管区气象台発表の1か月予報によると、気温は平年より高いと予想されており、ハスモンヨトウの発生に好適である。
- 6 防除上注意すべき事項
 - (1) 分散前の若齢幼虫が群棲している白変葉は、見つけ次第除去する。
 - (2) 薬剤散布は、効果が高い若齢幼虫期に実施する。
 - (3) 防除適期はフェロモントラップの誘殺ピークから10日目頃であるが、地域によって発生に差があるため、白変葉の発生状況を必ず確認する。
 - (4) 近隣にフェロモントラップが設置されていない場合は、病虫害防除所ホームページのフェロモントラップの誘殺状況（筑紫野市、柳川市、行橋市）を参考にする。



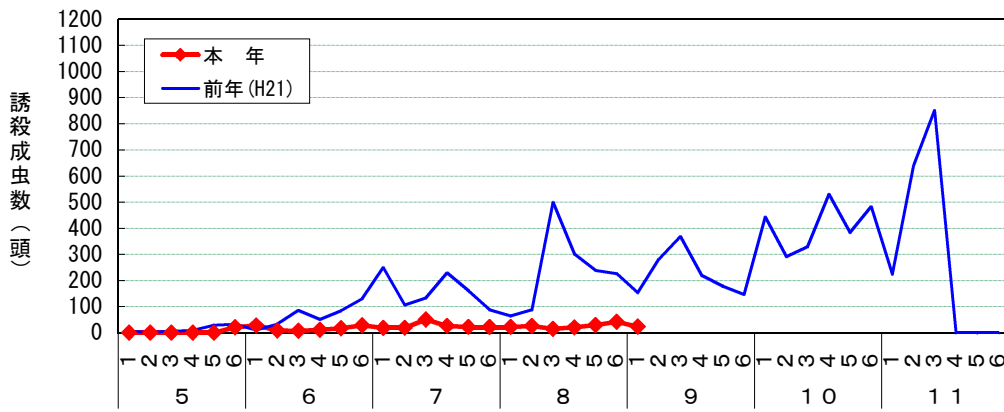
第1図 フェロントラップによるハスモンヨトウ誘殺虫数の推移(筑紫野市)

月-半旬



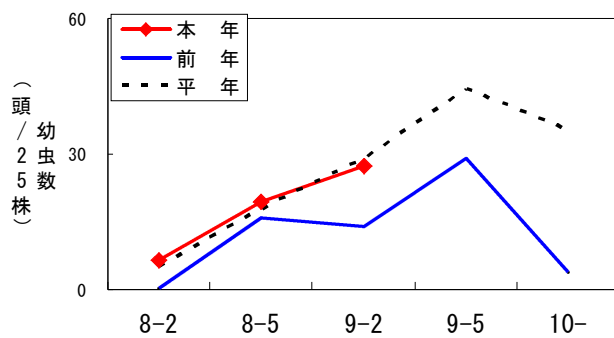
第2図 フェロントラップによるハスモンヨトウ誘殺虫数の推移(柳川市)

月-半旬



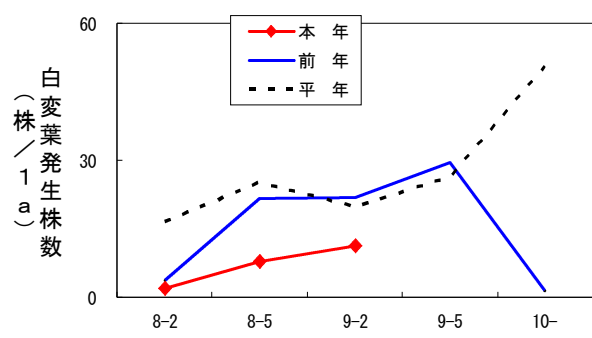
第3図 フェロントラップによるハスモンヨトウ誘殺虫数の推移(行橋市)

月-半旬



第4図 大豆におけるハスモンヨトウの発生推移(25株当たり寄生幼虫数)

月-半旬



第5図 大豆におけるハスモンヨトウの発生推移(1a当たり白変葉発生株数)

月-半旬